

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2024年6月
第57号
(年4回発行)

夏号

発行部数3千部



住職インタビュー／法事の意味と役割を考える
シリーズ浄土宗／俱会一処とは
実践教室／写経
お盆会・合同新盆法要のご案内ほか

丹羽住職インタビュー 法事の意味と役割を考える

近年は、長く続いたコロナ禍の影響や高齢化社会の事情等からも法事の簡略化が進んだように感じます。

通夜や告別式などを行わない「直葬」という言葉も耳にしたこともあるのではないのでしょうか？

本来の法事の意味と役割について、丹羽ご住職にお話しを伺いました。



「ご法事とは何をさすのでしょうか？」

私たちは、一周忌や三回忌などに亡き人を偲び営まれる年忌法要を法事と呼びますが、本来、法事とは、仏法の事をいう言葉で年忌法要に限らず仏教の行事すべてを言います。

例えば、お寺でお勤めされる大きな法要も、毎日仏さまにお供えをしたり、お勤め（読経）をすることも全て法事です。また、追善供養、追善回向という言葉があります。浄土宗ではこのように説明しています。「追善とは亡き人の為に善い行いを積むことで、回向は自分が積んだ功德を自分の為だけではなく、ほかの人に振り向けることです。」「浄土宗の教えでは心をこめて、南無阿弥陀仏とお念仏をとなえることが最高の功德であり、追善供養、追善回向となります」。

葬儀式と告別式

葬儀・告別式というと一つの式だと混同しがちですが厳密には異なります。

葬儀は遺族が故人の冥福を祈り葬る儀式で、浄土宗では、僧侶が亡き人に「引導」を受け、阿弥陀さまの

お迎えを仰いで、速やかに極楽に往生することを願う儀式です。一方、告別式は宗教儀式ではなく、遺族をはじめ親しい人たちが亡くなった人と最後のお別れをするための式典です。



問 ここ数年、葬儀を行わないという選択をされる方の話しを耳にする機会が増えたように思うのですが…。また、高齢化社会の影響もあってか葬儀などの法事の規模も簡略化されているのではないのでしょうか？

住職 そうですね。葬儀を行わないという事には事情や理由があると思いますが、盛大に執り行う必要はないので、質素でも葬儀をあげることは残された人の心の安らぎにも繋がると思います。

問 回忌法要は何回忌までするものなのでしょうか？

住職 法要は何回忌までしなければならぬという決まりはありません。年数が経つと故人の顔を知らない人も増えてきますから、ご縁の深かった方によつてですが、三十三回忌くらいまでをめぐりに最後となさることが多いようです。

問 葬儀や年忌法要などの法事を執り行うことの意味や役割を教えてください。

住職 葬儀や、回忌法要などの法事を執り行う意味は、亡くなった故人のためだけではなく、亡き人を縁にそこに集まった家族や縁者、お一人お一人が仏縁に出遇うという事が大切なことであることは言うまでもありませんが、親戚や独立し離れて暮らす家族が寄り集う事も重要なことだと考えます。

久しぶりに顔を合わせ、絆を深めることで改めて「いのちの繋がりを実感することが出来る」。法事は、そのよ

うな役割も担ってきたのではないでしようか。

問 確かに、そうかもしれません。離れ離れに暮らす親族との関係は疎遠になりがちですが、法事の席では繋がりを感じずにはいられません。

都合がつかない、小さな子どもがいるので参列を遠慮するなど様々な理由で法事に集まるひとも少なくなっていますが、普段なかなか会えないからこそ、亡くなった方をご縁に親族が集まることに意義があるという事ですね。本日は、ありがとうございました。



俱会一処



俱会一処の石碑
彩の都メモリアルパーク「光明苑」

俱会一処とは、浄土宗が拠りどころとしている『浄土三部経』の一つ「仏説阿弥陀経」に出てくる言葉です。

阿弥陀経の中には「舍利佛、衆生聞かん者、应当に願を発しかの国に生まれんとす願わずべし。所以は何、かのごとき諸上善人と俱に一処に会することを得ればなり。」という一説があり、その「俱に一処に会する」というところを「俱会一処」という言葉で表しているのです。

その意味は、私たちがこの世の縁が尽きたとき、阿弥陀さまの働きによって、西方極楽浄土に往生し、そして今度は同じ仏さまと成らせて頂いて先に極楽へ往っている御先祖様や親しい人たちに再び会えることを示しています。

同じ仏として会えるとはどういうことなのでしょう。

私たちは、生活の中で色々な人に出会います。その中には良い人もいれば、嫌な人もいます。しかし、深く考えてみると、それは人を自分の物差しで計りながらの生活ではないのでしょうか。他を傷つけ、自らを損ない、自分の物差しが間違っているかどうかも分からない中で、あくまでも自らが正しいと思いつながりながら毎日を送っている私たちです。同じ仏として会えるということは、互いにいのちを尊重しあえる、いのちが輝きあう存在になることです。憎しみもなければ、傷つけあうこともない世界で、懐かしい方と出会えるということです。それを「俱会一処」お浄土（清らかな世界）で会うというのです。

写経

寺院などでは定期的に写経会を開いているところも多く、日常の悩みやわずらわしさから一時の解放を求めて参加する方も多くいるようです。



写経とは

写経とは、その名の通りお経を書き写すこと。

もとは印刷技術のなかったころの書写と、学僧が経典を学んだり、複製して全国に仏教を広めていくための行為でした。

日本書紀には、六七三（天武2）年

「書生をあつめて、初めて一切経を川原寺（飛鳥の三大寺のひとつ）に写す」との記述があり、これが日本で最初の写経と考えられています。平安時代頃から、写経をすることによって「功德が得られる」と考えられるようになり、先祖供養、祈願成就、故人の仏道修行などを目的として広く行われるようになりました。

現代の写経

経文を書く事だけに精神を集中し心を落ち着けることで慌ただしい日常生活でたまったストレスをリフレッシュできることなどでも注目を集めている写経ですが、写経を試みようと思う理由は人によって様々です。姿勢改善や心が清浄になる。集中力や忍耐力をつける為など等…。

写経に選ばれる経典

書写する経典には、「般若心経」が多く使われますが、宗派によっても違いがあります。

浄土宗では、浄土宗の拠りどころとする浄土三部経の一つ仏説無量寿経の

一部で阿弥陀さまが仏になるために立てた誓いである「四誓偈」や、善導大師が撰述された願文「発願文」、法然上人が最後に遺された教えである「一枚起請文」、なども写経の handbook として選ばれます。

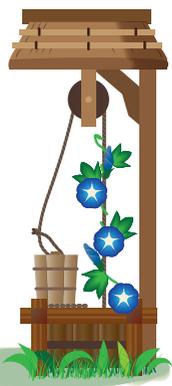
自宅で写経

浄土宗の大本山の一つ増上寺では毎月14日（7月、8月はお休み）写経会を行っておりますが、自宅でも気軽に写経をすることができますようにと公式サイト上で写経手本のダウンロードができ、誰でも自由に使用できます。

おうちで写経・大本山 増上寺

(<https://www.zojoji.or.jp/ouchi-shakyou/>)





Q & A

Q 私は左利きなのですが、数珠を持つ手は右利きの人と変わらないのでしょうか？



A 数珠を左手に持つのは仏教の信仰やマナーに基づいた慣習です。普段、数珠を持つときは左利きの人でも右利きの人でも左手に持ちます。

左手に持つ理由としては諸説ありますが、一説では仏教発祥の地であるインドでは左手は不浄、右手は清浄といった意味で扱われています。そのため不浄である左手を清める意味で左手に数珠を持つ、という考え方もあるようです。

数珠を手を持ち歩く際には、房が付いている数珠の場合は、房を掌の中に握らず下に垂れるようにして持ちましょう。座っている時にも左手で持つか左手首にかけておくことが、数珠の持ち方になります。また、法要などで数珠を取り扱う際には、お焼香のタイミングになって取り出すのではなく、事前に手の中に用意しておきましょう。

暮らしの中の

仏教語

「行水」【ぎょうすい】

近頃、庭やベランダに小鳥を呼んで自然を楽しむ人も増えているとのこと、そのアイテムの一つとしてバードバスというものがあるのをご存知ですか？ 小鳥たちが水浴びするための水場の事なのですが、羽についたホコリや寄生虫を取るなど健康を目的として水浴びをするのだそうです。鳥の水浴びと言えばカラスの行水なんていう言葉もありますよね。



さて、この「行水」という言葉、仏教では、「長阿含経」というお経の中に「手に自ら斟酌して食訖りにて行水し」とあり、行水は食後、鉢や手を洗うことを言ったそうです。そこから潔斎のために、清水で身体を洗い身を正すことになり、それが民衆にも広がっていき皆さんご存知の行水の意味になったのだとか…。

西願寺 TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789
彩の都メモリアルパーク TEL. 048-921-4194

掲 示 板

塔婆お焚き上げに ついて

当霊園では、塔婆のお申込み
又は、墓所に立てる際に、塔婆
お焚き上げ料として1本につき
1,000円を頂戴しております。



※お皆様ご同行の方
(当霊園以外で塔
婆をお申込みの
方)は墓前に塔婆
をあげる際に管理
事務所にお申し出
ください。

彩の都
メモリアルパーク
管理事務所

西願寺 お盆会のご案内

お盆会 7月13日(土)~7月15日(月)
旧盆会 8月13日(火)~8月15日(木)

■ 合同新盆供養 ■

日時 令和6年8月4日(日)

10時~

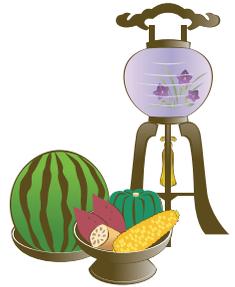
場所 西願寺本堂

■ 孟蘭盆会合同供養 ■

日時 令和6年8月13日(火)

10時~

場所 西願寺本堂



■ 西願寺大施餓鬼会法要 ■

令和6年5月25日(土)

西願寺では、毎年5月に大施餓鬼会法要が執
行行われます。施餓鬼会は、「救抜焰口餓鬼陀
羅尼經」というお経に説かれた阿難尊者の話し
に由来しており、西願寺では、先祖追福のため
に、また一切の生物の霊を慰め、あわせて自分
自身の福德延寿を願う法要として営まれます。



西願寺 施餓鬼法要

■ お便り募集 ■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑
問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳な
ど、どうぞお気軽にお寄せください。

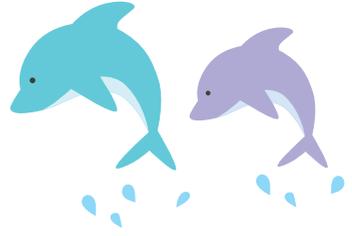
◆ イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区麹町二・十・三・一〇二
F A X 03 (32205) 1302 Mail : info@io-conet

■ 次号予告

次号は令和六年九月発行予定の「秋号」です。





◆編集後記◆

今年の夏も猛暑の予感しかない春先からの気温上昇の日々でしたが、皆さんはどんな暑さ対策をしているのでしょうか…。

さて、今回、3頁では「俱会一処」について掲載しました。「俱会一処」の言葉は、亡くなってしまった大切な人とも、また会えるという約束の言葉に聞こえて悲しいお別れだったとしても心がやわらぐ気がします。

ところで、そこに掲載した西願寺・彩の都メモリアルパーク内にある永代供養墓「光明苑」の横にある俱会一処の文字が刻まれた石碑ですが、味のある佇まいで随分古い様子。残念ながら石碑に彫られている文字から建立年号は読み取れませんでした。ご住職が子どもの頃には既に古い状態であったとのこと。以前は本堂前の六地藏の後方にあつたものを区画整理して移設したのだそうです。六地藏よりは新しそうですが、六地藏の建立は元禄13年（1700）頃。そうやって見ると益々あの佇まいに歴史の重みを感じますね。（真相はわかりませんが（笑））

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三四〇〇〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三四〇〇〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部